



## 刈谷発展の礎をつくった 神谷傳兵衛を知っていますか？



### ■ 神谷傳兵衛とは？

明治大正期、近代日本の黎明期に、東の渋沢栄一、西の五代友厚と並び称された三河出身の偉人。

- ・ 安政 3 年西尾市一色町松木島生まれ。
- ・ 明治 13 年東京浅草に「みかはや銘酒店」を創業、明治 45 年**神谷バー**に改名。  
**電気ブラン**が大人気、財を成す。太宰治「人間失格」にも登場する。
- ・ 明治 36 年国産初の葡萄酒醸造所「**シャトーカミヤ**」創業（茨城県牛久市）
- ・ **日本のワイン王**といわれる。
- ・ 生涯で創立した会社は 6 0 社、重役に就いた会社を含めると **9 0 社**に及ぶ。
- ・ 数多くの文化事業や慈善事業に取り組む。
- ・ 板垣退助、山岡鉄舟、西郷従道、渋沢栄一等各界の名士とも交流が多い。
- ・ 自ら収集所有の美術骨董品 668 点すべてを現：東京国立博物館へ**献納**。

### ■ 刈谷との関わり？ ～三河鉄道の救世主～

- ・ 大正 5 年、**三河鉄道（現名鉄三河線）**の倒産の危機に **3 代目社長**就任。
- ・ 三河鉄道を知立から挙母・猿投まで延伸。（猿投枝下の良質の粘土を搬送）
- ・ 刈谷駅近接地に\***東洋耐火煉瓦(株)刈谷工場**(現アピタ辺り)を創業。枝下粘土活用。
- ・ 東洋耐火煉瓦刈谷工場長・技師長**大野一造**（刈谷名誉市民第 1 号）との出会い。
  - ・ 大正 11 年 4 月 24 日逝去(66 歳)。今年で**没後 100 年**を迎えた。

\* 東洋耐火煉瓦(株)刈谷工場は、現クアーズテック(株)刈谷事業所

### ■ その後、刈谷の発展 ～東海道線と三河鉄道の交差した要衝地にトヨタが～

- ・ 大正 12 年豊田紡織刈谷試験工場が設置。
- ・ 大正 15 年(株)豊田自動織機製作所設立（社長豊田利三郎）。自動車製造のため工場用地買収を刈谷町に依頼し、買収の残額を寄付として**亀城小学校講堂を建設**。
- ・ 昭和 2 年、**依佐美無線鉄塔**工事開始三河鉄道小垣江駅から臨時で高須まで敷設
- ・ 昭和 3 年、傳兵衛の死後、養子傳蔵（2 代目傳兵衛）が、三河線を吉良吉田まで延伸。松木島に赤絨毯敷の貴賓室を装備した**神谷駅**を建設。（設計・大中肇）
- ・ 昭和 11 年、「トヨタ金融」→1956.7.1「**豊田通商(株)**」
- ・ 昭和 12 年、「トヨタ自動車工業(株)」設立 ～1982.7.1「**トヨタ自動車(株)**」
- ・ 昭和 16 年、「豊田工機(株)」設立～刈谷工機～豊田工機～2006.1.1 **ジェイテクト**
- ・ 昭和 18 年、「東海飛行機(株)」設立（刈谷）→1949 愛知工業→1965 **アイシン**
- ・ 昭和 20 年、「トヨタ車体工業(株)」→刈谷車体→1953.1.1 **トヨタ車体**
- ・ 昭和 24 年、「(株)日本電装」設立 ～現在の**デンソー**
- ・ 昭和 42 年、**大野一造**逝去(81 歳) 長男**大野耐一**はトヨタ生産方式(TPS)を確立した。